

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.50

開催地：水上村

平成19年11月15日（木）、水上村岩野公民館において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会には、約20名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

村内	19名
村外	0名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本高水流量が7,000m³/sということだが、市房ダムでも流入量が1,000m³/sぐらいあると思う。川辺川の方が流入量が多いと思うが、本当に7,000m³/sで良かったのか（もっと大きくなって大丈夫か）。 	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川水系の治水安全度は、全国と同規模の河川と比較しても妥当な規模と考えられます。 この安全度に相当する基本高水のピーク流量について、全国の河川で一般的に用いられている手法のひとつで算出された人吉地点の基本高水のピーク流量7,000m³/sについて、これが妥当な流量かどうかという議論が小委員会でもなされています。 具体的には、平成18年に川内川で降った雨が球磨川で降ったと仮定した場合の検討や歴史的洪水の検証など様々な検討を行ったうえで、7,000m³/sが妥当な流量との結論に至りました。 なお、今後、地球温暖化に伴う気候変動、森林の保水力等に関する新たな知見により、基本高水のピーク流量算出の前提条件が著しく変化することが明らかとなった場合には、必要に応じ基本方針の内容を見直すこととしており、この旨、基本方針にも明記されています。
<ul style="list-style-type: none"> 基本高水7,000m³/sの問題が新聞等に載っていたが、今日の説明で半分くらい分かった。 球磨川の将来に関する事なので、内容は難しいところがあるかもしれないが、若い世代にもこうした話を聞く機会を設けて欲しい。その時は、ほとんどわからないかもしれないが、その子供達が大きくなった時に、昔、こういう話を聞いたことがあったな、自分達も伝えていかなくてはいけないと思うような取り組みを行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の内容等について、地域の方々の理解が深まるよう、今後とも説明に努めていきたいと考えています。 ご指摘のとおり、今後とも、地域の方々との対話を大事にしながら、川づくりを進めていきたいと考えています。
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸野ダムの両側に堤防の計画は無いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 堤防の整備など具体的な河川整備の内容等については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市房ダムのダム湖でも外来種が大変多くなった気がする。外来種の駆除などの対応ができないか。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来種への対応については、他の事例を参考にしながら、今後対応していきたいと考えております。

<ul style="list-style-type: none"> ・今年雨が少ないためアオコが発生している。見た目も良くないので、対策をお願いしたい。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（市房ダムの）アオコの発生原因について、数年かけて調査したが、原因の特定には至っていない状況です。水質調査を、国交省の知恵も借りながら、今後も調査を進めていきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・上にダムがあるおかげで、下の方は渇水状態になっている。維持流量も流れていない。ダムがあるために砂利が流れてこない。河床が岩ばかりになってしまう。河川整備の中でそうしたことも考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川上流区間の流量が少ないことについては、関係者が問題認識を共有し、安定的な水利用と河川環境の調和について知恵を出していく必要があると考えており、今後の課題と認識しております。 また、砂利の問題については、いただいたご意見も参考にし、市房ダムを管理する熊本県をはじめ関係機関とも連携して、河川の源流部の山地、河川、海まで流域一貫した土砂管理に取り組んでいきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・何年かに1回、夏の水泳の時の事故があるが、川の両側がずっと護岸で、コンクリートで固めているために、事故の現場を発見してもすぐに飛び込むことが非常に困難。護岸が長く続くようなところは、何mおきかに川に下りて行けるような階段を造って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、治水対策を優先してきた経緯があり、洪水に対する安全度が向上する一方で、ご指摘のように護岸等の整備により、川に近づきにくくなったとのご意見を多くの住民の方々からもいただいているところです。 河川に親しみやすい空間の創出に向け、地元市町村や地元住民の方々とも連携して検討していきたいと考えています。なお、具体の河川整備については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。いただいたご意見はその際の参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・多良木の中鶴橋の上流に、3段くらいに蛇籠を積んでいるが、そのために、夏、子供が川の中に入って遊ぶことが非常に困難。非常に危ない。水辺には砂地もあるので、そこを工夫して子供が近づきやすいよう何とかできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、治水対策を優先してきた経緯があり、洪水に対する安全度が向上する一方で、ご指摘のように護岸等の整備により、川に近づきにくくなったとのご意見を多くの住民の方々からもいただいているところです。 今後、河川に親しみやすい空間の創出に向け、地元市町村や地元住民の方々とも連携して検討していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・葦が繁茂して、上流から下流へ行ったり来たりできない。市房第二ダムから公民館の横の橋までの間に子供にとって良い遊び場があったが、今は水もほとんど流れず、上ったり下ったりが出来ない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川上流区間の流量が少ないことについては、関係者が問題認識を共有し、安定的な水利用と河川環境の調和について知恵を出していく必要があると考えており、今後の課題と認識しております。 今後、河川に親しみやすい空間の創出に向け、地元市町村や地元住民の方々とも連携して検討していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔は牛のエサにするために河原に草刈りにきていた人もいた。今はそうしたことも無く、葦が伸び放題になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のように、川に近づきにくくなったとのご意見を多くの住民の方々からもいただいているところです。 今後、河川に親しみやすい空間の創出に向け、地元市町村や地元住民の方々とも連携して検討していきたいと考えています。
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水上村の県営市房ダムでは、建設50年の節目及び水利権の更新期を迎える。議会でも、ダム湖周辺環境整備及び生活基盤整備に関する意見書を、熊本県知事、国土交通大臣に提出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和48年に水源地域対策特別措置法ができ、それ以降に整備されたダムでは水源地域振興のための取り組みが行われているところです。

道路や橋梁整備、濁水対策など全国のモデルとなる球磨川整備となるようお願いしたい。県でダム湖周辺環境整備事業を起こして欲しい。

しかしながら、市房ダムは法施行以前のダムであるため、法に則った水源地域の振興策が実施できない状況です。市房ダムを管理している熊本県等とも連携し、どのような取り組みができるか検討していきたいと考えています。

【熊本県回答】

- ・ 県としては、旧建設省が市房ダムを建設した昭和 35 年当時は、水源地対策といった制度が今ほど十分でなかったと承知していますが。県の財政も厳しく、できること、できないことがあります。市房ダムが下流に恩恵を与えているダムであることも受け止めながら、村と相談しながら何ができるのか考えていきたいと思えます。

・ 市房ダムの水利権の免状の更新について、管理者である県からの説明が無い。今後の日程を教えてください。

【熊本県回答】

- ・ 平成 20 年 3 月に企業局から、国交省に対して更新申請を行っており、その際、水上村および水上村議会に対して説明を実施しております。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。